



このマニュアルについて

この章は、次の項で構成されています。

- [対象読者と用途 \(P.v\)](#)
- [表記法 \(P.vi\)](#)
- [Cisco Unity Connection のマニュアル \(P.vii\)](#)
- [技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン \(P.vii\)](#)

対象読者と用途

このマニュアルでは、Cisco Unity Connection とサポート対象バージョンの Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) との連動を設定する方法について説明します。SIP トランクを介した Cisco Unity Connection との連動がサポートされている Cisco Unified CM のバージョンのリストについては、『*SIP トランク互換性マトリクス : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express*』を参照してください。

表記法

『Cisco Unified Communications Manager SIP トランク インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection』では、次の表記法を使用します。

表 1 『Cisco Unified Communications Manager SIP トランク インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection』の表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> キーおよびボタン名（例：[OK] をクリックします）。 ユーザが入力する情報（例：[ユーザ名] ボックスに Administrator を入力します）。
<> (山カッコ)	ユーザが入力するパラメータを囲むために使用します（例：[コマンドプロンプト] ウィンドウで、ping <IP アドレス>を入力します）。
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します（例：Ctrl-Alt-Delete を押します）。
> (右山カッコ)	メニューで選択する順序を表します（例：Windows の [スタート] メニューから [プログラム] > [Cisco Unified Serviceability] > [Real-Time Monitoring Tool] の順にクリックします）。 Cisco Unity Connection の管理のナビゲーション バーでの操作を表します（例：Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定] > [詳細設定] と展開します）。

『Cisco Unified Communications Manager SIP トランク インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection』では、次の表記法も使用します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

Cisco Unity Connection のマニュアル

Cisco.com 上の Cisco Unity Connection に関するマニュアルの説明と URL については、『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このドキュメントは Cisco Unity Connection に同梱されていますが、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html から入手することもできます。

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここには、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

